

令和8年度
小岩井地内配水管布設工事

数 量 計 算 書

飯 能 市 上 下 水 道 部
水 道 工 務 課

数量総括表

[illegible]

D C I P ϕ 100

本管配管材料集計表

[illegible]

切 り 管 調 整

DCIP φ 100

本 数	甲切り管 (m)	乙切り管 (m)				切り管長 (m)	残管 (m)	切断工 口
		1	2	3	4			
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
切り管長								
(0 + 0) ÷ 4m /本 =								

$$\begin{array}{l} \text{直管本数} = \frac{\text{定尺管}}{\text{切管用}} \\ \text{DCIP } \phi 100 \quad (L = 4.0 \text{ m}) \end{array} \quad \begin{array}{l} 96 \\ 96 \end{array}$$

$$\text{管明示工 } \phi 100 \quad (0.12 \times 3.14 \times 1.5 \times 397.0 + 397.0) \div 20 = 31.1 = 32 \text{ 卷}$$

$$\text{新設管残管重量 } \phi 100 \quad 0.01798 (\text{t/m}) \times 0.00 (\text{m}) = \text{ t}$$

本管配管工集計表

[illegible]

配水管土工延長集計表

[illegible]

配水管土工集計表

[illegible]

配水管土工計算

本管部

配水管布設部

延長

=

397.00 m

N0.1

布設

新設 DCIP100		DP=1.20	
種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	397.00×2	794.00 m
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ ハックホ Ast=10cm以下	0.60×397.00	238.20 m^2
機械掘削積込工	0.2m ³ ハックホ	$0.60 \times 1.27 \times 397.00$	302.51 m^3
機械埋戻工	0.2m ³ ハックホ 砂質土	$(0.60 \times 0.92 - 0.011) \times 397.00$	214.78 m^3
	0.2m ³ ハックホ 発生土	$0.60 \times \quad \quad \times 397.00$	m^3
残土処分工	機械積 AS 10t車	$0.60 \times 0.05 \times 397.00$	11.91 m^3
残土処分工	機械積 土砂 10t車	$302.51 - \quad$	302.51 m^3
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.60×397.00	238.20 m^2
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 15cm	0.60×397.00	238.20 m^2
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 5cm	0.60×397.00	238.20 m^2
発生土運搬工(仮置場)	0.2m ³ ハックホ 4t車	$\div 0.90$	m^3

略

図

掘削

埋戻し

※新設 DCIP100控除 0.011 m²

600

舗装版掘削積込工

再生密粒度As

再生粒調 碎石RM-40

再生切込 碎石RC-40

機械掘削

埋戻し用 砂質土

新設φ100

DP=1200

50

1270

120

50

150

200

920

1320

配水管土工計算		割T字管部	配水管布設部	延長	=	2.05 m	NO. 2	
既設 DCIP100		DP=1.20		布設				
新設 DCIP100		DP=1.20						
種 別	形状・寸法	算 式					数 量	
舗装版切断工	厚15cm以下	$2.05 \times 2 + 1.10 \times 2 =$					6.30 m	
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ ハックホ Ast=10cm以下	$1.10 \times 2.05 =$					2.26 m ²	
機械掘削積込工	0.2m ³ ハックホ	$(1.10 \times 1.67 - 0.011) \times 2.05 =$					3.74 m ³	
機械埋戻工	0.2m ³ ハックホ 砂質土	$(1.10 \times 1.32 - 0.011) \times 2.05 =$					2.95 m ³	
	0.2m ³ ハックホ 発生土						m ³	
残土処分工	機械積 AS 10t車	$1.10 \times 0.05 \times 2.05 =$					0.11 m ³	
残土処分工	機械積 土砂 10t車	$3.74 -$					3.74 m ³	
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	$1.10 \times 2.05 =$					2.26 m ²	
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 15cm	$1.10 \times 2.05 =$					2.26 m ²	
As舗装工	再生密粒度アスコン t= 5cm	$1.10 \times 2.05 =$					2.26 m ²	
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m ³ ハックホ 4t車	$\div 0.90 =$					m ³	
土留工	H=2.00	$2.05 =$					2.05 m	
略		☒						
		掘削埋戻し					※既設 DCIP100控除 0.011 m ² ※新設 DCIP100控除 0.011 m ²	
		1100						
		舗装版掘削積込工再生密粒度As						
		再生粒調 碎石RM-40 再生切込 碎石RC-40 埋戻し用 砂質土						
		機械掘削						
		既設φ100						
		501502001720132016701200400120						

消火栓

消火栓材料集計表

[illegible]

消火栓設置工集計表

[illegible]

撤去

既設管撤去工

名 称	形 状 寸 法	単位				数量
既設塩化ビニル管撤去工	φ 100	m	410			410
既設塩化ビニル管切断工	φ 100	口	410.0÷6.0m/箇所 69			69
仕切弁撤去工	φ 100	基	4			4
仕切弁筐撤去工	φ 100	基	4			4
消火栓撤去工	φ 75	基	3			3
コンクリート製ボックス撤去(角形)工		基	3			3
メカニカル継手取外工	管帽 φ 100	基	起・終点 2			2
※現場発生品						
塩化ビニル管 φ 100	0.003409t/m	t				1.3977
仕切弁 φ 100	0.024t/基	t				0.0960
仕切弁筐 φ 100	0.0458t/基	t				0.1832
消火栓 φ 75	0.023t/基	t				0.0690
コンクリート製ボックス撤去(角形)	0.2967t/基	t				0.8901
管帽 φ 100	0.0069t/個	t				0.0138
廃プラスチック類	0.35t/m3	m3	0.4892			
〃		t	1.3977			
コンクリート塊	無筋	t	0.8901			
鉄くず	ヘビーH4	t	0.2930			

撤去土工延長集計表

[illegible]

[illegible]

NO. 1
 ϕ 100

形状・寸法

NO. 1
 ϕ 100

数量

15cm以下

820.00

820 m

0.20m³ハックホウ
Ast=10cm以下

205.00

205 m²

0.2m³ ハックホウ

254. 20250 m³

0.2m³ハックホウ
発生土

186. 55190 m³

機械積 AS
10t車

10. 25

10.25 m³

機械積 土砂
10t車

46. 92

46.92 m³

再生砂
t= 10cm

 m^2

再生切込碎石
t= 20cm

205. 00

205 m²

再生切込碎石
t= 10cm

$$m^2$$

再生粒調碎石
t= 10cm

205. 00

205 m²

再生密粒度
t= 5cm

205. 00

205 m²

0.2m3 バックホウ
4t車

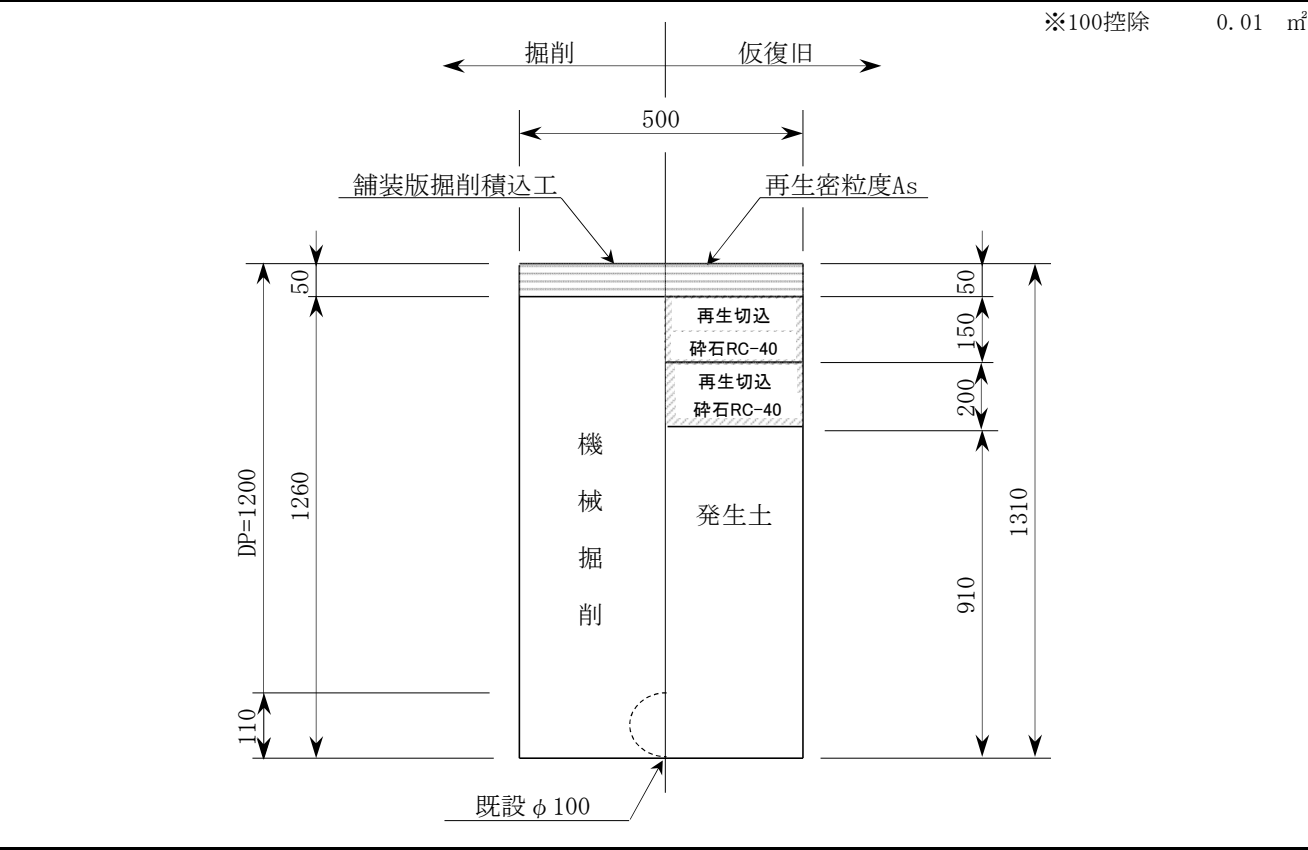
207. 28

210 m³

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	410.00 × 2 =	820.00 m
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ ハックホ Ast=10cm以下	0.50 × 410.00 =	205.00 m ²
機械掘削積込工	0.2m ³ ハックホ	(0.50 × 1.26 - 0.010) × 410.00 =	254.20 m ³
機械埋戻工	0.2m ³ ハックホ 砂質土		
	0.2m ³ ハックホ 発生土	0.50 × 0.91 × 410.00 =	186.55 m ³
残土処分工	機械積 AS 10t車	0.50 × 0.05 × 410.00 =	10.25 m ³
残土処分工	機械積 土砂 10t車	254.20 - 207.28 =	46.92 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.50 × 410.00	205.00 m ³
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 15cm	0.50 × 410.00	205.00 m ³
アスファルト舗装工	再生密粒度アスコン t= 5cm	0.50 × 410.00 =	205.00 m ²
発生土運搬工(仮置場)	0.2m ³ ハックホ 4t車	186.55 ÷ 0.90 =	207.28 m ³

略

図



本 設 給 水

本設給水箇所数

[illegible]

[illegible]

給水管土工集計表

項目	形状・寸法	単位	舗装	土砂	土砂	舗装	コンクリート	コンクリート	合計
			市道	境界～	乙止栓～	境界～	境界～	乙止栓～	
			540-1号線	乙止栓	メーター	乙止栓	乙止栓	メーター	
			土工No. 1	土工No. 2	土工No. 3	土工No. 4	土工No. 5	土工No. 6	
			車道	宅内	宅内	宅内	宅内	宅内	
舗装版切断工	As15cm以下	m	46.00			12.00			58
	Co15cm以下	m					6.00	2.00	8
舗装版直接掘削積込工	0.10m ³ ハックホ Ast=10cm以下	m ²	11.50			3.00			15
構造物とりこわし工	人力 無筋Co	m ³					0.15	0.03	1
機械掘削積込工	0.1m ³ ハックホ	m ³	13.23	0.88		1.35			15
人力掘削積込工	人力	m ³			0.14		0.60	0.06	1
機械埋戻工	0.1m ³ ハックホ 砂質土	m ³	9.20						9
	0.1m ³ ハックホ 発生土	m ³		0.88		1.05			2
人力埋戻工	砂質土	m ³							
	発生土	m ³			0.14		0.45	0.03	1
残土処分工	機械積 AS 4t車	m ³	0.58			0.15			0.73
	機械積 Co 4t車	m ³					0.15	0.03	0.18
	機械積 土砂 4t車	m ³	13.23	-0.10	-0.02	-0.15	0.10	0.03	13.09
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	m ²	11.50						12
上層路盤工	再生切込碎石 t= 10cm	m ²				3.00	1.50	0.30	5
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 15cm	m ²	11.50						12
アスファルト舗装工	再生密粒A s t= 5cm	m ²	11.50			3.00			15
アスファルト舗装工 (宅地内)	再生密粒A s t= 5cm	m ²							
	再生細粒A s t= 3cm	m ²							
コンクリート工	t= 10cm	m ³					0.15	0.03	1
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m ³ ハックホ 4t車	m ³		0.98	0.16	1.50	0.50	0.03	3
集計	給水箇所数	箇所							給水件数13件

給水管土工計算

NO. 1

車道

延長 = 23.00 m

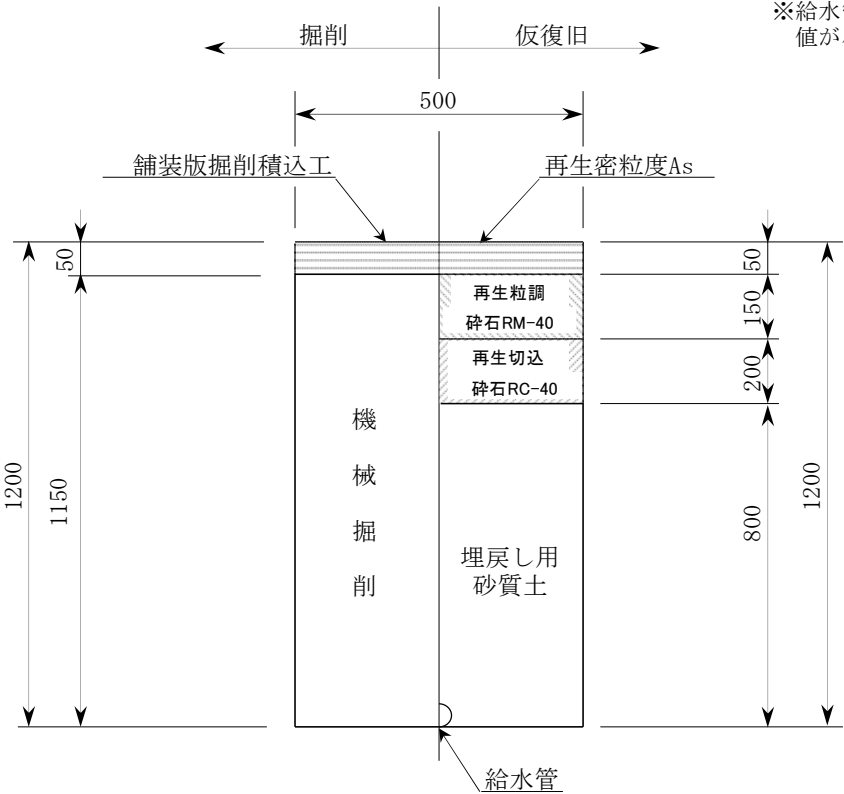
As舗装 (DP=1.20)

掘削幅 0.50

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$23.00 \times 2 =$	46.00 m
舗装版直接掘削積込工	Ast=10cm以下	$0.50 \times 23.00 =$	11.50 m ²
機械掘削積込工	0.1m ³ ハックホ	$(0.50 \times 1.15) \times 23.00 =$	13.23 m ³
機械埋戻工	0.1m ³ ハックホ 砂質土	$0.50 \times 0.80 \times 23.00 =$	9.20 m ³
機械埋戻工	0.1m ³ ハックホ 発生土	$0.50 \times \quad \times 23.00 =$	m ³
残土処分工	機械積 AS 10t車	$0.50 \times 0.05 \times 23.00 =$	0.58 m ³
残土処分工	機械積 土砂 10t車	$13.23 - \quad =$	13.23 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	$0.50 \times 23.00 =$	11.50 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 15cm	$0.50 \times 23.00 =$	11.50 m ²
アスファルト舗装工(市道車道)	再生密粒度アスコン t= 5cm	$0.50 \times 23.00 =$	11.50 m ²
発生土運搬工(仮置場)	0.2m ³ ハックホ 4t車	$\div 0.90 =$	m ³

略

図



NO. 2

掘削幅 0.50 矢板無

四

掘削

復旧

500

500

機械掘削

発生土

給水管

給水管土工計算

宅地内(土砂)

NO. 3

給水管延長 = 1.50 m

乙止水栓～メーター

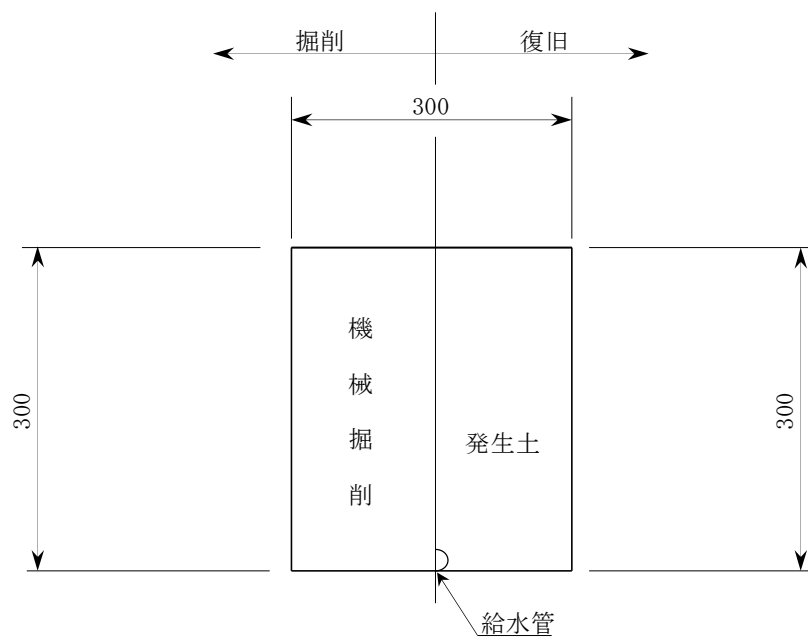
掘削幅 0.30 矢板無

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
人力掘削積込工	人力	$0.30 \times 0.30 \times 1.50 =$	0.14 m ³
人力埋戻工	発生土	$0.30 \times 0.30 \times 1.50 =$	0.14 m ³
残土処分工	機械積 土砂 10t車	$0.14 - 0.16 =$	-0.02 m ³
発生土運搬工 (仮置場)	0.2m ³ バックホ 4t車	$0.14 \div 0.90 =$	0.16 m ³

略

図

※給水管の管体控除は
値が小さいため計上しない。



給水管土工計算

宅地内(As)

NO. 4

給水管延長 = 6.00 m

境界～乙止水栓

掘削幅 0.50

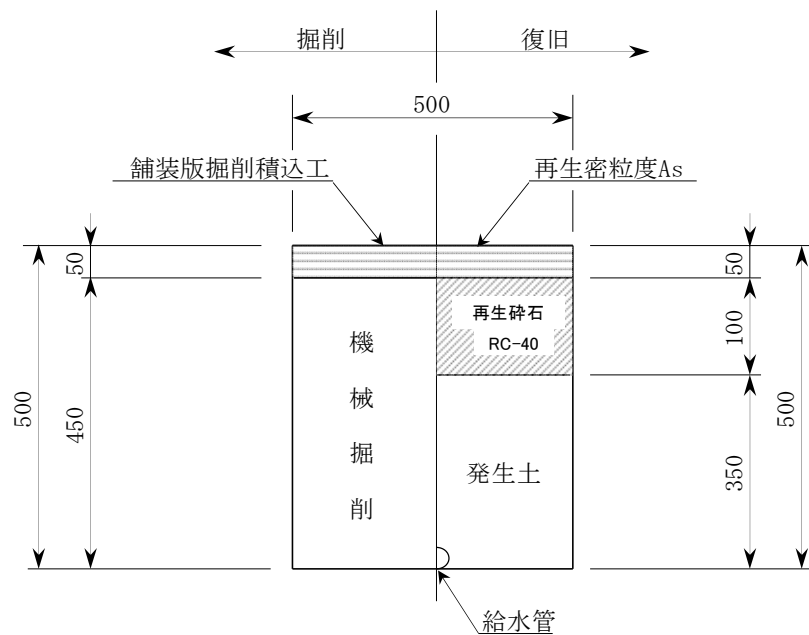
矢板無

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	6.00×2	$= 12.00 \text{ m}$
舗装版直接掘削積込工	Ast=10cm以下	0.50×6.00	$= 3.00 \text{ m}^2$
機械掘削積込工	0.1m3 バックホウ	$0.50 \times 0.45 \times 6.00$	$= 1.35 \text{ m}^3$
機械埋戻工	0.1m3 バックホウ 砂質土		
	0.1m3 バックホウ 発生土	$0.50 \times 0.35 \times 6.00$	$= 1.05 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 AS 10t車	$0.50 \times 0.05 \times 6.00$	$= 0.15 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 10t車	$1.35 - 1.50$	$= -0.15 \text{ m}^3$
上層路盤工 (宅地内)	再生切込碎石 t= 10cm	0.50×6.00	$= 3.00 \text{ m}^2$
上層路盤工	再生粒調碎石		
舗装工 (宅地内)	再生密粒度Asコン t= 5cm	0.50×6.00	$= 3.00 \text{ m}^2$
発生土運搬工(仮置場)	0.2m3 バックホウ 4t車	$1.35 \div 0.90$	$= 1.50 \text{ m}^3$

略

図

※給水管の管体控除は
値が小さいため計上しない。



給水管土工計算

宅地内 (Co)

NO. 5

給水管延長 = 3.00 m

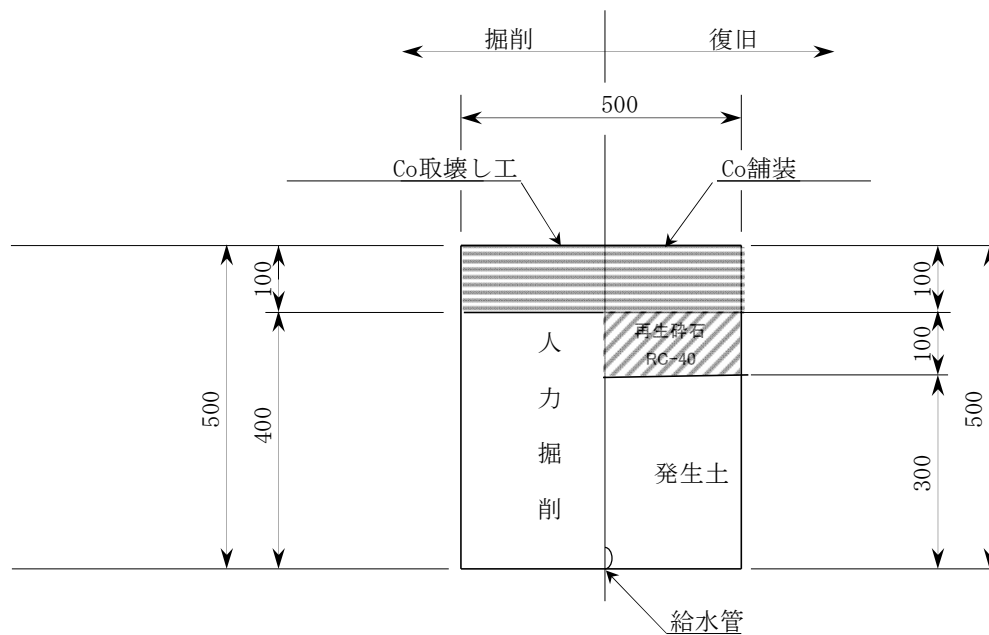
境界～乙止水栓

掘削幅 0.50 矢板無

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	Co厚15cm以下	3.00×2	$= 6.00 \text{ m}$
構造物とりこわし工(無筋)	人力 無筋Co	$0.50 \times 3.00 \times 0.10$	$= 0.15 \text{ m}^3$
人力掘削積込工	人力	$0.50 \times 0.40 \times 3.00$	$= 0.60 \text{ m}^3$
人力埋戻工	発生土	$0.50 \times 0.30 \times 3.00$	$= 0.45 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 Co 4t車	1.50×0.10	$= 0.15 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 10t車	$0.60 - 0.50$	$= 0.10 \text{ m}^3$
上層路盤工 (宅地内)	再生切込碎石 t= 10cm	0.50×3.00	$= 1.50 \text{ m}^2$
コンクリート工	t= 10cm	$0.50 \times 3.00 \times 0.10$	$= 0.15 \text{ m}^3$
発生土運搬工(仮置場)	0.2m ³ バックホウ 4t車	$0.45 \div 0.90$	$= 0.50 \text{ m}^3$

略

図

※給水管の管体控除は
値が小さいため計上しない。

給水管土工計算

宅地内 (Co)

NO. 6

給水管延長 = 1.00 m

乙止水栓～メーター

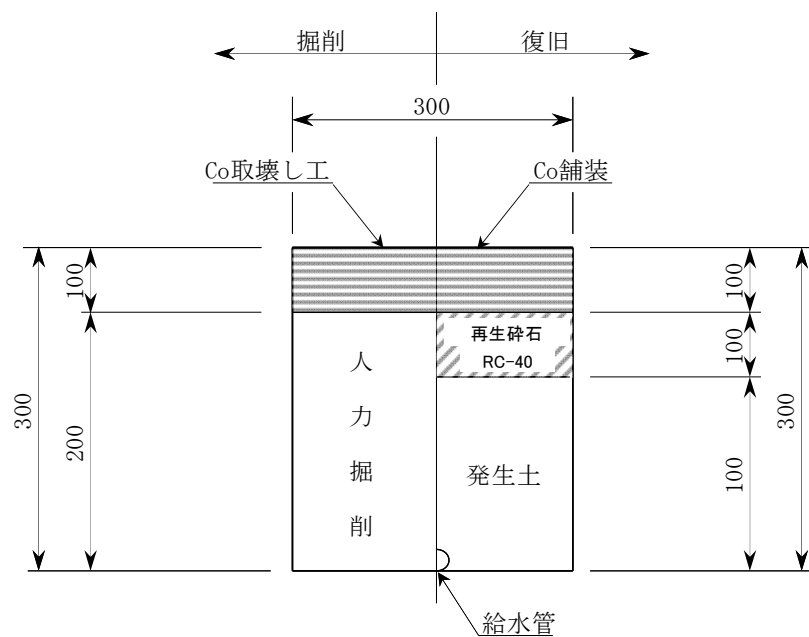
掘削幅 0.30 矢板無

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	Co厚15cm以下	1.00×2	$= 2.00 \text{ m}$
構造物とりこわし工(無筋)	人力 無筋Co	$0.30 \times 1.00 \times 0.10$	$= 0.03 \text{ m}^3$
人力掘削積込工	人力	$0.30 \times 0.20 \times 1.00$	$= 0.06 \text{ m}^3$
人力埋戻工	発生土	$0.30 \times 0.10 \times 1.00$	$= 0.03 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 Co 4t車	0.30×0.10	$= 0.03 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 10t車	$0.06 - 0.03$	$= 0.03 \text{ m}^3$
上層路盤工 (宅地内)	再生切込碎石 t= 10cm	0.30×1.00	$= 0.30 \text{ m}^2$
コンクリート工	t= 10cm	$0.30 \times 1.00 \times 0.10$	$= 0.03 \text{ m}^3$
発生土運搬工(仮置場)	0.2m ³ バックホ 4t車	$0.03 \div 0.90$	$= 0.03 \text{ m}^3$

略

図

※給水管の管体控除は
値が小さいため計上しない。



工旧復本

舗装本復旧 数量総括表

名 称	種 別	単 位	数 量	備 考
舗装版切断工	As舗装版 t=15cm以下	m	7	
舗装版取壊し積込工	As舗装版、BH=0.28m ³ t=10cm以下	m ²	1460	
不陸整正工	補足材 RM-40 t=2cm 施工幅1.8m以上 振動ロー	m ²	1460	
表層工	再生蜜粒度As t=5cm 車道 タイヤロー転圧 PK-3	m ²	1460	
廃材運搬・処分	As塊 10t車	m ³	72.85	
区画線設置工	溶融式区画線 実線・黄色・W=15cm	m	18	

舗装本復旧 集計表

名 称	種 別	算 式	数 量	単位
本復旧面積	市道1-540-1号線 t=5cm		1,457	m ²
舗装切断工	As舗装版 t=15cm以下	市道1-540-1号線 (t=5cm) 3.10 + 3.70	6.80	m
舗装取壊し工	As舗装版、BH=0.28m ³ t=10cm以下	市道1-540-1号線 1457.00 =	1,457	m ²
不陸整正工	補足材 RM-40 t=2cm 施工幅1.8m以上 振動ローラ	市道1-540-1号線 1457.00 =	1,457	m ²
表層工	再生蜜粒度As t=5cm 車道 タイヤロー転圧 PK-3	市道1-540-1号線 1457.00 =	1,457.00	m ²
廃材運搬・処分	As塊 10t車	市道1-540-1号線 × 5cm 1457.00 × 0.05 =	72.85	m ³
区画線設置工	溶融式区画線 実線・黄色・W=15cm	消火栓4箇所 17.60 =	17.6	m

平面図より

測点	距離(m)	幅員(m)	平均幅員(m)	面積(m2)
0	0	3.1		0.00
1	20	3.1	3.1	62.00
2	20	4.0	3.55	71.00
3	20	4.5	4.25	85.00
4	20	4.1	4.3	86.00
5	20	2.8	3.45	69.00
6	20	2.6	2.7	54.00
7	20	3.0	2.8	56.00
8	20	2.8	2.9	58.00
9	20	3.0	2.9	58.00
10	20	4.4	3.7	74.00
11	20	3.7	4.05	81.00
12	20	3.8	3.75	75.00
13	20	4.2	4	80.00
14	20	4.4	4.3	86.00
15	20	3.8	4.1	82.00
16	20	3.8	3.8	76.00
17	20	3.8	3.8	76.00
18	20	3.8	3.8	76.00
19	20	3.8	3.8	76.00
20	20	3.8	3.8	76.00
合計	400	3.8	3.6	1457.00

濁水処理計算書

濁水処理量の算出

①基本条件

舗装切断厚	濁水処理量	
	($\text{m}^3/100\text{m}$)	(m^3/m)
t=5cm	0.130	0.0013
t=10cm	0.240	0.0024
t=15cm	0.350	0.0035
t=20cm	0.460	0.0046
t=25cm	0.570	0.0057
t=30cm	0.680	0.0068
t=35cm	0.790	0.0079
t=40cm	0.900	0.0090

※左表に該当しない場合

舗装厚=, 左表り ^{舗装厚①} ^{舗装厚②} の値を基準に算出する。
濁水処理量② : $\text{m}^3/100\text{m}$
濁水処理量① : $\text{m}^3/100\text{m}$ ・・・※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\begin{aligned} \text{濁水処理量} &= \frac{(\text{②} - \text{①}) \times \text{濁水処理量②}}{5} = \\ &= \text{} \text{m}^3/100\text{m} \rightarrow \text{} \text{m}^3/\text{m} \end{aligned}$$

舗装厚=, 左表り ^{舗装厚①} ^{舗装厚②} の値を基準に算出する。
濁水処理量② : $\text{m}^3/100\text{m}$
濁水処理量① : $\text{m}^3/100\text{m}$ ・・・※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\begin{aligned} \text{濁水処理量} &= \frac{(\text{②} - \text{①}) \times \text{濁水処理量②}}{5} = \\ &= \text{} \text{m}^3/100\text{m} \rightarrow \text{} \text{m}^3/\text{m} \end{aligned}$$

舗装厚=, 左表り ^{舗装厚①} ^{舗装厚②} の値を基準に算出する。
濁水処理量② : $\text{m}^3/100\text{m}$
濁水処理量① : $\text{m}^3/100\text{m}$ ・・・※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\begin{aligned} \text{濁水処理量} &= \frac{(\text{②} - \text{①}) \times \text{濁水処理量②}}{5} = \\ &= \text{} \text{m}^3/100\text{m} \rightarrow \text{} \text{m}^3/\text{m} \end{aligned}$$

②濁水処理量、台数の算出

〔舗装切断数量〕

種 別	舗装切断長 (m)		
	t=5cm	t=10cm	
本設 φ100	800.00		
撤去	820.00		
給水	58.00	8.00	
本復旧	7.00		
計	1685.00	8.00	

〔濁水処理量〕

種 別	舗装切断長 A (m)	濁水処理量 B (m³/m)	総濁水処理量 A×B (m³)
t=5cm	1685.00	0.0013	2.191
t=10cm	8.00	0.0024	0.019
計			2.210

よって、上表より「濁水処理量」は 2.210m³ となる

〔濁水運搬台数〕 1台=1.666m³

$$2.210\text{m}^3 \div 1.666\text{m}^3/\text{台} = 1.327\text{台}$$

$$= \underline{\underline{2 \text{ 台}}}$$

処分費

残土処分工 アスファルト塊

名 称	計 算 書	数 量
配水管土工	※〔配水管土工集計75〕より 12.020m ³	12.020 m ³
撤去工	※〔撤去管土工集計表〕より 10.250m ³	10.250 m ³
本設給水土工	※〔給水管土工集計表〕より 0.730m ³	0.730 m ³
本復旧工	※〔舗装本復旧集計表〕より 72.850m ³	72.850 m ³
運搬量		96 m ³
処分量	96.00 × 2.35 m ³ /t	226 t

残土処分工 コンクリート塊

名 称	計 算 書	数 量
撤去工	※〔撤去労務〕より 0.890 t	0.890 t
本設給水土工	※〔給水管土工集計表〕より 0.180m ³ × 2.35m ³ /t	0.423 t
運搬量		1 m ³
処分量	1.00 × 2.35 m ³ /t	2 t

廃プラスチック類 塩ビ

名 称	計 算 書	数 量
撤去工	※〔撤去労務〕より 1.398 t	1.398 t
運搬量		1.398 t
処分量	1.398 × 0.35 t/m ³	0.489 m ³

鉄くず H4

名 称	計 算 書	数 量
撤去工	※〔撤去労務〕より 0.293 t	0.293 t
運搬量		0.293 t
処分量		0.293 t

残土処分工 残土

名 称	計 算 書	数 量
配水管土工	※〔配水管土工集計表100〕より 306.250m ³	306.250 m ³
本設給水土工	※〔給水管土工集計表〕より 13.090m ³	13.090 m ³
撤去土工	※〔撤去土工集計表〕より 46.920m ³	46.920 m ³
運搬量		366 m ³
処分量		366 m ³

处分先

先分処

AS,CO殻

住所 : 飯能市大字芦荻場475
名称 : 丸宮
DID : あり
距離 : 10.0 km



建設発生土

住所 : 青梅市成木5-1390
 名称 : UCR(オ)
 DID : なし
 距離 : 10.7 km



プラスチック類

住所	:	入間市狭山台3丁目2番地9
名称	:	株式会社 遠藤商会
DID	:	あり
距離	:	16.0 km



鉄くず

住所	:	飯能市大字芦荊場813-1
名称	:	丸本
DID	:	あり
距離	:	9.9 km



As濁水

住所 : 狭山市広瀬台2-12-13
名称 : 大丸商事(株)
DID : あり
距離 : 13.1 km



仮設材

住所	:	飯能市大字双柳1-1
名称	:	飯能市役所
DID	:	あり
距離	:	6.3 km



土留材賃料

軽量鋼矢板賃料算定-1

〔軽量鋼矢板〕

軽量鋼矢板(Ⅱ型) 矢板長2.0m 支保工 1 梁

・ 供用日数＝土留施工延長(m)÷日進量(m/日)×1.7(供用日数割増)

$$\begin{aligned} & \text{布設延長} && \text{1口当りの施工日数} \\ & = (2.10) \div 2 \times 1 \\ & \div 2 \text{ 日} && \text{※供用日数は1日として考える} \end{aligned}$$

・ 軽量鋼矢板賃料（一口あたり標準施工延長は2.1mとする）

賃料＝(供用1日当り賃料×施工供用日数＋1現場当り修理費及び損耗費×補正率)×1口当り重量

_____円

1口当り重量	2.0(m/口)÷0.25(m/枚)×2(各面)＝16(枚) 16(枚)×2.0(m)×0.0118(t/m)＝0.378(t)
使用回数	1回
補正率	使用回数が2回以上の場合に適用

軽量鋼矢板運搬重量＝0.378t

〔支保材賃料〕

賃料＝アルミ腹起し賃料＋水圧式パイプサポート賃料＋水圧ポンプ賃料

_____円

アルミ製腹起 (120×120×2,000)	1日当り賃料	円/本・日
	使用数量	2.0(m/口)÷8.0(m/本)×1(段)＝1(本/片面) 1(本/片面)×2(両面)＝2(本)
	部材賃料	円
水圧サポート (770～1330)	1日当り賃料	円/本・日
	使用数量	2(本) (腹起材と同数)
	部材賃料	円
水圧ポンプ 15～19ℓ	1日当り賃料	円/台・日
	使用数量	1台
	部材賃料	円

部 材	製品重量 (t)
軽量鋼矢板	2.00m × 0.0118 t/m × 16枚 = 0.378t
アルミ腹越	26.30kg/本 × 2本 ÷ 1,000kg/t = 0.053t
水圧サポート	8.80kg/本 × 2本 ÷ 1,000kg/t = 0.018t

仮設材運搬重量＝0.827t

日数計算

開削工事日数算定表

分類	工種	種別	規格	施工量		作業量		実日数	備考
新設管 GX φ 100	舗装版切断工	舗装版切断工	As t=15cm以下	800	m		m/日		
	舗装版取壊工	舗装版掘削積込工	As,Co t=10cm以下 (BH0.20m3)	240	m2		m ² /日		
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.20m3	310	m3		m ³ /日		
	管布設工	管布設工	DIP φ 100	392.6	m		m/日		
		管継手工(直管)	DIP φ 100	96	口		口/日		
		管継手工(異形管)	DIP φ 100	30	口		口/日		
		管継手工(G-Link)	DIP φ 100	1	口		口/日		
		管継手工(メカニカル)特押	DIP φ 100	1	口		口/日		
		鋳鉄管切断工(エンジンカッター)	DIP φ 100	2	口		口/日		
		不断水割T字管設置工	φ 100× φ 100	1	箇所		箇所/日		
	仕切弁設置工	鋳鉄製仕切弁設置工	φ 100以下	4	箇所		箇所/日		
		ねじ式弁管設置工	1号	5	箇所		箇所/日		
	埋戻工	機械埋戻工	BH0.20m3	220	m3		m ³ /日		
	舗装復旧工	表層工(1.4m以下)車・歩道	As t=5cm以下	240	m ²		m ² /日・層		
		上層路盤工	1層 1.8m未満	240	m ²		m ² /日・層		
		下層路盤工	1層 1.8m未満	240	m ²		m ² /日・層		
消火栓	消火栓 設置工	消火栓設置工	φ 75	4	箇所		箇所/日		
		鉄蓋設置工	φ 600(4号)	4	個		個/日		
		レジン製ボックス設置工	φ 600 調整リングH=50	4	個		個/日		
		レジン製ボックス設置工	φ 600 上部壁H=200	4	個		個/日		
		レジン製ボックス設置工	φ 600 中部壁H=100	4	個		個/日		
		レジン製ボックス設置工	φ 600 下部壁H=500	4	個		個/日		
		レジン製ボックス設置工	φ 600 底板H=40	4	個		個/日		
給水管	舗装版切断工	舗装版切断工	As t=15cm以下	58	m		m/日		
		舗装版切断工	Co t=15cm以下	8	m		m/日		
	舗装版取壊工	舗装版掘削積込工	As,Co t=10cm以下 (BH0.10m3)	15	m2		m ² /日		
		構造物とりこわし工	人力 無筋CO	1	m3		m/日		
	人力掘削工	掘削工	現場制約あり	1	m3		m/日		
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.10m3	15	m3		m ³ /日		
	分水栓建込み	サドル分水栓建込み	DIP φ 100× φ 50	1	箇所		箇所/日		
		サドル分水栓建込み	DIP φ 100× φ 25	12	箇所		箇所/日		
	コア取付	コア取付け工	φ 50	1	箇所		箇所/日		
		コア取付け工	φ 25	12	箇所		箇所/日		
	管布設工	硬質塩化ビニル管据付工	HIVP φ 50	5	m		m/日		
		TS継手工	HIVP φ 50(1口当り)	4	口		口/日		
		管切断工	HIVP φ 50	3	口		口/日		
		硬質塩化ビニル管据付工	HIVP φ 20	3	m		m/日		
		TS継手工	HIVP φ 20(1口当り)	9	口		口/日		
		管切断工	HIVP φ 20	10	口		口/日		
		ポリエチレン管据付工	PP φ 25	2	m		m/日		
		管切断工	PP φ 25	1	口		口/日		
		ポリエチレン管据付工	PP φ 20	28.5	m		m/日		
		PP継手工	PP φ 20(1口当り)	2	口		口/日		
		管切断工	PP φ 20	11	口		口/日		
	止水栓	止水栓取付け工	PP φ 20 筐含む	10	箇所		箇所/日		
	ねじ込み接合	小口径管ねじ込み接合工	φ 13	3	口		箇所/日		
	埋戻工	機械埋戻工	BH0.10m3	11	m3		m ³ /日		
		人力埋戻工	現場制約あり	1	m3		m/日		
	舗装復旧工	基層工(1.4m以下)車・歩道	As t=5cm超え7cm以下	12	m ²		m ² /日・層		
		上層路盤工	1層 1.8m未満	17	m ²		m ² /日・層		
		下層路盤工	1層 1.8m未満	12	m ²		m ² /日・層		
		コンクリート工(宅内)	As t=10cm 人力	1	m ³		m ³ /日		

開削工事日数算定表

分類	工種	種別	規格	施工量		作業量		実日数	備考
既設管撤去工	舗装版切断工	舗装版切断工	As t=15cm以下	820	m		m/日		
	舗装版取壊工	舗装版掘削積込工	As,Co t=10cm以下 (BH0.20m3)	205	m ²		m ² /日		
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.20m3	250	m ³		m ³ /日		
	撤去工	撤去管吊上げ積込み(人力)	φ 100	410.0	m		m/日		
		硬質塩化ビニル管切断	φ 100	69	口		口/日		
		消火栓篋撤去工	飯能市型篋(角型) 鑄鉄製 600×500	3	個		個/日		
		鉄蓋撤去工	φ 600(4号)	3	個		個/日		
		仕切弁篋撤去工	飯能市型篋 1号 φ 250	4	個		個/日		
	埋戻工	機械埋戻工	BH0.20m3	189	m ³		m ³ /日		
	舗装復旧工	表層工(1.4m以下)車・歩道	As t=5cm以下	205	m ²		m ² /日・層		
上層路盤工		1層 1.8m未満	205	m ²		m ² /日・層			
下層路盤工		1層 1.8m未満	205	m ²		m ² /日・層			
仮設工	土留工(設置)	軽量鋼矢板建込み工	H=2.00m以下(両側分)	2.1	m		m/日		
		軽量金属設置工	1段(腹起し材)	2.1	m		m/日		
		水圧式パイプサポート設置工	1段(切梁材)	2.1	m		m/日		
	土留工(引抜)	軽量鋼矢板引抜き工	H=2.00m以下(両側分)	2.1	m		m/日		
		軽量金属撤去工	1段(腹起し材)	2.1	m		m/日		
		水圧式パイプサポート撤去工	1段(切梁材)	2.1	m		m/日		
舗装工	舗装版切断工	舗装版切断工	As t=15cm以下	7	m		m/日		
	舗装版取壊工	舗装版掘削積込工	As,Co t=10cm以下 (BH0.20m3)	1460	m ²		m ² /日		
		不陸整正	車道・路肩部施工	1460	m ²		m ² /日・層		
	区画線工	区画線工	実線 W=15cm 供用	18	m		m/日		
合計									
交通誘導員B		130人							